

太田中学校 3 年
藤澤秀吏さん



僕は、苦手としているコミュニケーション能力の向上を目的にホームステイを体験してきました。ホストファミリーの同い年のアレックスと母のジョアンナの笑顔を見たとき、緊張はあったけどホッとしたのを覚えています。2 人とも積極的に話しかけてくれました。話してくれている内容が分からず困っていたら、携帯のアプリなどを使って自分に分かるまで説明してくれて嬉しかったです。1 日 1 日が本当に充実した 4 日間でした。自分にとって大きな自信につながったし、この経験をこれからの人生に役立てていきたいです。

真龍中学校 2 年
高橋みなみさん



私は、この事業に参加してとても良い経験や思い出をたくさん体感することができました。ローズベイハイスクールでの体験では、みんなフレンドリーに話しかけてくれて、私が日本人だと話すととても興味を示してくれました。この事業を通して私は少しでも消極的な自分を変えられたと思います。それはローズベイハイスクールでの体験やホームステイで私が伝えたいことをホストファミリーがちゃんと聞いてくれたからだと思います。なので、この事業に参加できて本当に良かったです。

真龍中学校 2 年
石井亜依さん



私はオーストラリアに行き、とくに思いに残ったことは、クラレンス市のローズベイハイスクールの学校交流の時のことです。ホストファミリーの女の子はもちろん、クラスの子たちみんながすぐ明るく、親しみやすく、たくさん話しかけてくれたことが嬉しかったです。ホストファミリーとの生活ではじめは、英語でなかなかコミュニケーションがとれず、会話が成り立たないことが多くありましたが、時間が経つうちにお互い笑顔が増え、短い間だったけど楽しみながら生活することができました。

翔洋高校 3 年
平子未菜さん



ホームステイをして、聞き取ること、伝えることができるかが不安でしたが、耳が慣れてきて、聞き取ることができるようになってからは、会話が续くようになったので、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。それと同時に、自分の課題を見つけることができました。レセプションで、ホストファミリーや市長さんの前で、英語でスピーチする機会があつて、緊張して早口にならないようにって思いながら、いざ、皆の前に立ったら、自分でもびっくりするくらい落ち着いて、スピーチすることができました。



真龍中学校 2 年
鈴木 葵さん

ホームステイでは最初はとても緊張していましたが、ファミリーがとても優しく話しかけてくれました。ハイスクールで一番記憶に残っているのは、家庭科の授業です。たくさんの方が集まってきて、たくさん質問され、必死に答えていたのはよく覚えています。その授業では、新しい友達がたくさんできて、いい思い出と経験になりました。この交流事業に参加したことで、私自身とても大きく変わったと思います。以前よりも性格が明るくなり、そして自分に自信ができました。

【文通から始まった
中学生交流】

厚岸町とクラレンス市との中学生の交流事業については、国際交流を町民レベルから活発にしようとか結成された国際交流団体『アイリス』が橋渡しとなって行われていました。中学生交流の発端は、平成 4 年に将来を担う子どもたちの学校間交流をしよう、と、厚岸中学校の生徒の協力により、モンタギューベイ小学校の高学年に手紙を送ったことから、学校間交流がスタートしています。平成 5 年には、子どもたちの交流

【3 月 19 日 ホームステイ 3 日】

この日は休日のため、生徒たちはホストファミリーと 1 日過ごしました。動物園、マーケット、レストランやショーなどに連れて行ってもらい、有意義な時間を過ごしました。

【3 月 20 日 ホストファミリーとの別れ】

ホストファミリーと過ごした 4 日間もあつという間に過ぎ、別れの朝を迎えました。生徒たちはローズベイハイスクールに集合し、ホストファミリーと一緒に記念撮影などをして、別れを惜しんでいました。

その後は、マウントフィールドナショナルパークの散策やボノロングワイルドライフパークを見学し、タスマニアの自然に触れました。放たれているカンガルーに触ったり、餌をあげたり、日本ではできない貴重な体験をすることができました。

【3 月 21 日 シドニー市内へ】

クラレンス市にあるタスマニアで一番大きいショッピングセンターで買い物をした後は、飛行機でシドニーへ。シドニーでは水族館を見学し、シドニータワーのレストランで夕食をとりました。

【3 月 22 日 滞在最終日】

オーストラリア滞在最終日はシドニーと近郊の観光です。オペラハウスとミセス・マックオリーズチエアを見学後、世界遺産に登録されているブルーマウンテンを見学。トロッコやケーブルカーなどで昔の炭鉱跡を巡りました。シドニー市内に戻り、空港へ。21 時 30 分発の羽田行きの飛行機に搭乗しました。



【3 月 23 日 厚岸町へ】

日程最終日。予定より 30 分ほど早い 4 時 30 分に羽田空港に到着。国内線に移動して、釧路行きの便に搭乗しました。釧路空港到着後はバスで厚岸町へ帰町しました。役場庁舎前では、富澤教育長と保護者らの出迎えがあり、滝川団長のあいさつで解散しました。

厚岸中学校 2 年
中川晟那さん



初めて事前研修会に行った時、正直緊張と不安で頭がいっぱいでした。研修に行く回数が増えていくにつれて慣れてきて少し不安が自信に変わったような気がしました。ローズベイハイスクールの授業に参加した時、突然生徒の前で切り絵を発表してくださいと言われ、緊張してドキドキしていたら、通訳の佐野さんが助けてくれてなんとか英語で伝えられました。この交流事業に参加できてとても良い経験と素晴らしい思い出ができました。

をさらに発展させようとクラレンス市訪問を企画し、観光するだけではなくクラレンス市の人たちの生活を目の当たりにして身近に感じ、国際的な感覚を持つてもらおうと、クラレンス市の家庭でホームステイを行っています。平成 14 年までは、町内の中学 1 年生から希望者を募り、クラレンスとの文通を開始。2 年生になってからは日常英会話や姉妹都市とのつながりなどを学ぶ学習会を経て、クラレンス市に毎年訪問していました。平成 16 年、18 年、26 年にもクラレンス市を訪問しています。

翔洋高校 2 年
鈴木照美さん



ホームステイでは初めは会話が続かなかつたけど段々と話せるようになって良かったです。家で一緒に映画を見たときは、全部英語で理解できないと思っていたけど、知っている単語や表情、ジェスチャーで理解することが出来ました。ただ見るのではなく、自分で想像したりできて、日本語で見るよりも楽しめた気がしました。ジェスチャーなどは日常の中でも大切なので、言葉が伝わらないから諦めるのではなく、体で表現していきたいと思いました。



真龍中学校 2 年
三浦和馬さん

「まだ、帰りたくないな」。僕は、ホストファミリーと別れるとき、悲しく寂しい気持ちになった。なぜなら、とても親切にしてくれたからだ。最初に会った時は、ファザーが大きかったので、少し怖く感じたが、色々な会話をしていくうちに緊張が解けていった。家へ行くと、マザーがハグをしてきて一瞬びっくりしたけれど、これはオーストラリアの文化なんだなと思えた。オーストラリア人の優しさとおおらかさ、日本とは違う文化を体験し、知ることができた。

真龍中学校 3 年
小島史香さん



ホームステイは、大変でしたが、サンソンさん家全員で親切にして下さって楽しく過ごすことが出来ました。メリリュウカちゃんは、学校で友達に私を紹介してくれて、皆と一緒にトランプをして遊んだり、帰りのバスでは友達との会話を交えてくれて、友達もですが、本当に親戚で、行く前にしていた心配が嘘のように吹き飛びました。4 月 16 日には、私の家にホームステイに来るので、オーストラリアの人がして下さったおもてなしを、倍くらい返せるように頑張りたいです。

真龍中学校 3 年
佐藤しおんさん



オーストラリアに行き、私はたくさんの幸せに気が付きました。その一つが家族が近くにいる幸せです。ホームステイをしていたとき、ホストファミリーはとても親切にしてくれました。緊張しながらホストファミリーが仲良くお話しているのを見て、日本の家族がとても恋しくなりました。そんな私にも優しく声をかけ、話してくれたホストファミリーに恵まれた私は、楽しい 3 日間を過ごせました。私は沢山の人のおかげで出来たこの貴重な体験を忘れず、将来にいかしていこうと思います。